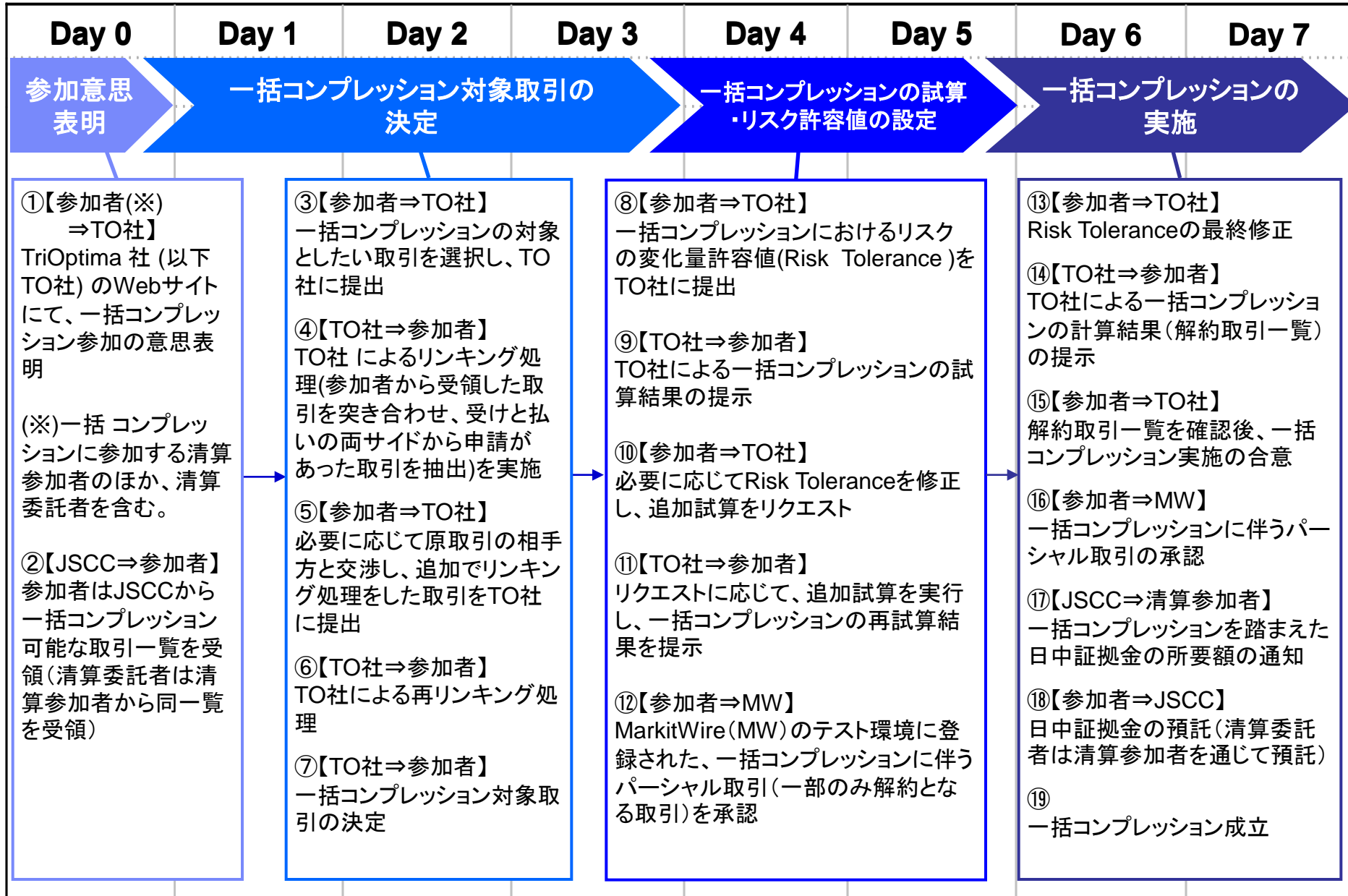


一括コンプレッション処理における具体的な事務フロー

別紙1



マージン・レポート (イメージ図・抜粋)

※マージン・レポート上、余剰額は0表示される。

担保種別	第2階層 口座種別	所要額 (A)			預託額 (D)			Margin Call (不足額※)	
		(B)+(C)	IM (B)	VM等(C)	(E)+(F)	現金(E)	代用有価(F)	(D)-(A)	現金 (E)-(C)
証拠金	House	900	1,000	-100	1,200	200	1,000	0	0
	顧客①	2,000	1,900	100	2,500	0	2,500	0	-100
	顧客②	1,100	1,000	100	800	300	500	-300	0

イ. 総額 (現金+代用) での不足額 (D-A)
→不足分の解消が必要。(代用可能)

ロ. 現金での不足額 (E-C)
→不足分について 現金での 解消が必要。

イ. 総額 (現金+代用有価証券) での不足額がある場合の取扱い

➤ 清算参加者は、第2階層口座毎にIMとVM等のネット後の所要額 (A列) とIMの預託額 (D列) を比較し、不足となっている場合には解消を行う (代用有価証券での預託が可能)。

- House、顧客①については、預託不要。
- 顧客②については、300の追加預託が必要。

ロ. 現金での不足額がある場合の取扱い

➤ VM等の所要額 (C列) とIM (現金) (E列) を比較し、不足となっている場合には現金での預託を行う。

- House、顧客②については、追加預託不要。
- 顧客①については、現金で100の追加預託が必要。



➤	➤
➤	
➤	
➤	

【基本的な考え方】

- ・清算参加者の破綻後、アフィリエイト及び顧客のポートフォリオを集約してヘッジ取引を行った場合に、集約したポートフォリオに生じたNPVの変化による損益及びヘッジ取引に係るコスト(以下「損益・ヘッジコスト」という。)は、当該ヘッジ取引に移行した時点の当初証拠金(IM)所要額に応じて、各ポートフォリオに割り当てることとする。
 - ・顧客の口座分についてもヘッジ取引の対象となった場合には、それ以降に発生したNPVの変化等は、追加でヘッジ取引の対象となった時点の各ポートフォリオへのIM所要額に応じて割り当てる。なお、すでに集約されていたポートフォリオに割り当てられたNPVの変化等については、当該ポートフォリオが集約され、ヘッジ取引に移行した時点のIM所要額に応じて各ポートフォリオに割り当てることとする。
 - ・オークションに係るコストについては、各ポートフォリオが、ヘッジ取引に移行した時点のIM所要額に応じて割り当てるものとする。
- ※なお、按分の際に使用するIM所要額については、顧客のIM所要額についても、保有期間を5日間に補正したものを使用する。

<破綻処理期間におけるIM額及び損益・ヘッジコスト(仮定)と損益等の配分方法>

	【IM所要額及び損益等の状況】				【損益等の配分方法】	
T日 (破綻日)	自己	アフリ	顧客①	顧客②		
	IM所要額	400	100	200		300
	(T日) →ヘッジ取引		移管先 調整中			移管先 調整中
	自己+アフリ	顧客①	顧客②		自己分及びアフリ分の損益等(T日分)について、T日のIM所要額(自己400、アフリ100)で按分【次項1.(1)T日分参照】	
損益・ヘッジコスト	-200	+25	-75			
T+1日	自己+アフリ	顧客①	顧客②		・自己分・アフリ分・顧客①分の損益等(T+1日分)について、T+1日のIM所要額(自己+アフリ100、顧客①230)で按分 ・さらに自己+アフリ分は、T日のIM所要額(自己400、アフリ100)で按分【次項1.(2)T+1日分参照】	
	IM所要額	100	230	320		
	(T+1日) →ヘッジ取引			移管先 調整中		
	自己+アフリ+顧客①	顧客②			・自己分・アフリ分・顧客①分の損益等(T+2日以降分)について、T+2日のIM所要額(自己+アフリ+顧客①110、顧客②340)で按分 ・さらに自己+アフリ+顧客①分は、T+1日のIM所要額(自己+アフリ100、顧客①230)で按分 ・さらに自己+アフリ分は、T日のIM所要額(自己400、アフリ100)で按分【次項1.(3)T+2日以降分参照】	
損益・ヘッジコスト	-99	-30				
T+2日～ (ポジション移管期限)	自己+アフリ+顧客①	顧客②			・オークションコストについて、各ポートフォリオのヘッジ取引移行日のIM所要額(自己400(T日)、アフリ100(T日)、顧客①230(T+1日)、顧客②340(T+2日))で按分【次項2.オークションコストの割当て参照】	
	IM所要額	110	340			
	(T+2日) →ヘッジ取引					
	自己+アフリ+顧客①+顧客②					
損益・ヘッジコスト	-135					
T+n日 (オークション日)	オークション・コスト	-107				

<具体的な計算方法>

1.損益・ヘッジコストの割当て

(1)T日分

	自己	アフィリ	顧客①	顧客②	
損益・ヘッジコスト	-200		+25	-75	
① T日のIM所要額に応じて按分	-160	-40	+25	-75	「自己+アフィリ」の損益・ヘッジコストをT日のIM所要額(※)に応じて按分。 ※自己:400、アフィリ①:100

(2)T+1日分

	自己	アフィリ	顧客①	顧客②	
損益・ヘッジコスト	-99			-30	
T+1日のIM所要額に応じて按分	-30		-69	-30	「自己+アフィリ+顧客①」の損益・ヘッジコストをT+1日のIM所要額(※)に応じて按分。 ※自己+アフィリ:100、顧客①:230
② T日のIM所要額に応じて按分	-24	-6	-69	-30	「自己+アフィリ」の損益・ヘッジコストをT日のIM所要額(※)に応じて按分。 ※自己:400、アフィリ:100

(3)T+2日以降分

	自己	アフィリ	顧客①	顧客②	
損益・ヘッジコスト	-135				
T+2日のIM所要額に応じて按分	-33			-102	「自己+アフィリ+顧客①+顧客②」の損益・ヘッジコストをT+2日のIM所要額(※)に応じて按分。 ※自己+アフィリ+顧客①:110、顧客②:340
T+1日のIM所要額に応じて按分	-10		-23	-102	「自己+アフィリ+顧客①」の損益・ヘッジコストをT+1日のIM所要額(※)に応じて按分。 ※自己+アフィリ:100、顧客①:230
③ T日のIM所要額に応じて按分	-8	-2	-23	-102	「自己+アフィリ」の損益・ヘッジコストをT日のIM所要額(※)に応じて按分。 ※自己:400、アフィリ:100

2.オークションコストの割当て

	自己	アフィリ	顧客①	顧客②	
オークションコスト	107				
④ヘッジ対象となった日のIM額に応じて按分	-40	-10	-23	-34	各ポートフォリオのヘッジ取引移行日のIM所要額(※)に応じて按分。 ※自己:400(T日)、アフィリ:100(T日)、顧客①:230(T+1日)、顧客②:340(T+2日)

3.IM返還額の算出

	自己	アフィリ	顧客①	顧客②
破綻日のIM所要額	400	100	200	300
損益・ヘッジコスト				
①T日分	-160	-40	+25	-75
②T+1日分	-24	-6	-69	-30
③T+2以降分	-8	-2	-23	-102
④オークションコスト	-40	-10	-23	-34
IM返還額	168	42	110	59



	1 720	
	1 25	
	10	
	1 1,000	